



現在の南目垣地域

軒下に置かれた田船「いなおし」

私の住んでいる地域は、茨木市の南東部、高槻市の西面地区と接した地域で、府道十三高槻線を挟んで北側が目垣、南側が南目垣です。茨木市内でも、東野々宮と併せ耕作面積が一番広い都市部の縁の空間です。

耕作者は目垣地区の方が43軒、他所よりの出作者が90軒位で、耕作面積は地元、出作者半々程度です。

私の子供の頃は、牛と人力で耕作に精を出していました。泥田の多い

地域で、稻木干しした稻を高い田畠まで牛に引かせた「いなおし」という田船で運び、脱穀し、稻作後は三島カシラン（キャベツ）、なたね等の栽培を朝早くから夜遅くまで続けていたのが思い出されます。

現在は、土地改良事業により用排水の便も良く、稻作に適した良い圃場ですが、時代・社会の移り変わりか、近年では耕作放棄されている田んぼが増えつつあります。

その大きな要因は、「高齢化・労働力不足・息子が遠隔地に勤務」等いわゆる後継者がいないことです。

定年65歳が終わつて耕作可能となつても、体がついていかない、経験が無い、年老いてから人に聞くのが恥ずかしい等、地域社会の絆の薄れもあります。

出作者も、親が土地を購入された

いながら耕作をされていましたが、

時は地域の人迷惑をかけまいと思

いながら耕作をされていましたが、

親が亡くなりサラリーマンの息子の

親が亡くなりサラリーマンの息子の

親が亡くなりサラリーマンの息子の

代になると、農機具を遠隔地から運搬して耕作するような人も少なくななり、希薄な倫理感も昨今の風潮です。

地価が高騰するほど遺産相続に関する耕作放棄地も増えています。耕作経験もない、農機具もない、耕作地も知らない。また、遠隔地に住む方に相続されている。これらも耕作放棄の要因となっています。

田畠売買の場合は農地法により、譲受者は農地20アール以上の耕作者、農機具も自前で持っている、耕作地までの通作が可能等が条件ですが、相続にはそれらの条件が全くありません。これは、農水省と財務省等行政の縦割りによるものなのでしょうか。

当地区には専業農家の方もいません。耕作地があつても、地域内に引き受け手がありません。また、「農産物の価格低迷」、「機械代金の高額化」等我々も考えなければいけない問題ですが、農業経営条件の悪化も大きな要因です。

しかしながら、耕作放棄地にされてしまうのは、眞面目に農業従事されている近隣耕作者です。「病害虫の発生」、特にカメムシによる被害、**「ゴミの不法投棄」**による火災、**「野生の鳥獣の住家」**となつて損害を被ります。社会的には「景観の悪

あせ道

農業委員
葛馬正一

都市部の耕作放棄地に憂いする

平成27年 茨木市農業委員会委員選挙人名簿登載申請書集計

平成27年1月30日現在

地区	実行組合	世帯数	男	女	計	地区	実行組合	世帯数	男	女	計
茨 木	茨木第一	1	1	1	2	福 井	福井上	34	50	53	103
	茨木第二	5	5	6	11		福井中	31	36	39	75
	茨木第三	3	5	6	11		福井下	31	35	30	65
	茨木第四	3	5	2	7		中河原	5	8	6	14
	茨木第五	3	4	2	6		計	101	129	128	257
	茨木第六	15	20	17	37		前年計	102	136	133	269
三 島	前年計	15	21	19	40	岩 川	阪	17	18	21	39
	西河原	13	18	22	40		畠	8	7	9	16
	田中	4	4	3	7		上川原	17	20	20	40
	耳原	19	25	26	51		鳥羽	27	32	37	69
	太田	28	37	36	73		清水	19	29	34	63
	総持寺	3	2	4	6		村	28	32	41	73
	総持寺二丁目	1	2	1	3	石 河	東宿川原	11	15	16	31
	中総持寺町	1	1	1	2		道祖本東	16	21	23	44
	橋の内	3	5	6	11		上平	9	8	1	9
	戸伏第二	10	10	7	17		山ノ下	1	1	2	3
	鮎川	28	34	40	74		砂ヶ原	3	3	2	5
	庄	2	3	2	5		計	156	186	206	392
春 日	計	112	141	148	289		前年計	159	195	224	419
	前年計	124	144	157	301	石 見 山	大岩	39	52	50	102
	下井山	7	7	12	19		安元	15	14	19	33
	郡	12	17	14	31		生保原	10	19	13	32
	郡	14	16	20	36		桑原	16	19	17	36
	上野市	7	9	9	18		計	80	104	99	203
	五日市	12	13	19	32		前年計	80	105	102	207
	畠田	7	9	9	18	下音羽	大音羽	34	43	39	82
	穗積	19	23	27	50		上音羽	36	45	48	93
	中穂積	8	10	12	22		錢谷	44	49	74	123
	下穂積	23	33	41	74		長谷	12	15	15	30
	奈良	27	32	41	73		清阪	9	17	12	29
	計	136	169	204	373		車作	38	52	41	93
春 日	前年計	135	177	201	378		忍頂寺	16	13	16	29
	内瀬尾	11	14	18	32		計	189	234	245	479
	真砂	8	10	10	20		前年計	190	243	251	494
	沢良宜東	9	16	14	30	清 渓	東谷	28	30	30	60
	沢良宜西	16	22	28	50		中垣内	18	22	21	43
	沢良宜浜一丁目	9	12	16	28		西垣内	19	23	22	45
	沢良宜浜三丁目	17	28	22	50		下南	14	18	15	33
	計	84	118	125	243		佐保免山	18	23	26	49
	前年計	86	131	127	258		佐保松谷	25	38	34	72
	島	23	32	31	63		佐保馬場	30	42	35	77
	野々宮	21	32	33	65		千提寺	15	15	18	33
	玉島二丁目	17	22	30	52		計	167	211	201	412
	平田	5	7	7	14		前年計	168	215	214	429
	目垣	41	60	57	117	三 島	宇野辺	17	25	20	45
	階堂	14	16	24	40		亘寅内	3	5	6	11
	五十鈴	6	10	9	19		藏垣内	14	15	20	35
	計	127	179	191	370		計	34	45	46	91
	前年計	124	178	189	367		前年計	34	45	47	92
	安威北部	42	54	62	116		計	12	13	11	24
安 威	安威中央	19	27	23	50	宅	前年計	18	19	17	36
	安威南部	24	33	30	63		計	1,324	1,693	1,762	3,455
	山西	7	8	5	13		前年総計	1,346	1,755	1,825	3,580
	日市	19	22	21	43		前年対比	▲22	▲62	▲63	▲125
	計	111	144	141	285						
	前年計	111	146	144	290						

木表は、1月1日現在の申請等に基づき、農業委員会で申請書の審査を行い、1月30日付け選挙管理委員会に送付した実行組合別の集計です。選挙管理委員会は2月20日までに名簿を作成し、内容の正確さを期するため2月23日から15日間縦覧期間を設けた後、3月31日に名簿を確定します。実行組合名簿の「その他」は、実行組合未加入世帯です。